

平成29年度 行政評価表

所属部	計画まちづくり部	所属課	三島駅周辺整備推進課	正職員数	4人	その他職員数	0人	電話番号 (内線)	055-983-2633 (内線2498)
-----	----------	-----	------------	------	----	--------	----	--------------	--------------------------

総合計画の 位置付け	基本目標	Ⅱ 活力のある住みやすいまち
	基本方針	4 都市機能の整ったまちづくり
	施策名	23 快適な市街地の形成<市街地整備>

年度	H28	H29	H30	H31	H32
予算額 (千円)	25,341	18,760			
決算額 (千円)	23,129	18,149			
決算額の 繰越明許分	-	-			

所管する施策の 方向一覧	Ⅱ-4-23-(1)三島駅南口周辺再開発の推進
	Ⅱ-4-23-(2)三島駅南北交通結節機能の充実

※人件費、一般諸経費、交際費、積立金、繰出金、出資金及び公債費は含まれておりません。
 ※予算費目表に再掲で表示されている事業は、再掲元の予算費目及び総括表に予算額及び決算額を記載しています。
 ※赤字:補正・流用により当初予算額から変更した予算額
 ※繰越明許:年度内にその支出が終わらない見込みのあるものについて、議会の議決を得て翌年度に繰越して使用するもの。
 予算要求年度に予算額を、実執行年度に決算額及び繰越明許額を記載。

成果指標 【行政改革大綱における取 組事項名】	指標計算式(指標の説明)	年度	H28	H29	H30	H31	H32
三島駅周辺(北口・南口)の 整備の満足度	市民意識調査で「満足」「やや満足」と回答した人の割合	目標	41%	41%	41%	41%	55%
		実績	41%	38.5%			
		進捗状況	順調	遅れ			
		目標					
		実績					
		進捗状況					
		目標					
		実績					
		進捗状況					
		目標					
		実績					
		進捗状況					

施策の方向	Ⅱ-4-23-(1)三島駅南口周辺再開発の推進
-------	-------------------------

1 当該年度の実施計画(Plan)

前年度評価に対する今年度の実施(改善)計画	東街区については、事業者の参画意向や事業環境の現状などを探っていく。また、民間のノウハウやアイデアの提案を受け、市の財政負担とも擦り合わせを行いながら、事業成立の見通しをつけ、事業協力者等を公募する。 西街区については、都市計画決定や開発許可などの法的な手続き、事業に伴う施設の再建、関係機関との協議などを円滑に進めていく。
【行革取組項目】 今年度の実施計画	

2 実施計画に対する取組内容(Do)

実施(改善)計画に対する今年度の取組内容	東街区については、事業者に対しアンケートを実施し、事業者の参画意向や事業環境の現状などを探っていく。また、事業者ヒアリングを行なう中で、民間のノウハウやアイデアの提案を受け、市の財政負担とも擦り合わせを行いながら、事業成立の見通しをつけ、事業協力者等を公募する。 西街区については、東京五輪前の開業を目標とするタイトなスケジュールであるため、都市計画決定や開発許可などの法的な手続き、事業に伴う施設の再建、関係機関との協議などが円滑に進むよう、必要に応じて協議の場を設定、スケジュールの共有化を図り、進捗管理を行うなど、横断的な連携・調整を図っていく。
【行革取組項目】 計画期間の取組内容(進め方)	

3 実施内容に対する評価(Check)

実施(改善)計画に対する今年度の評価	東街区については、事業協力者の公募を実施し、選定審査会による審査を経て最優秀提案者を選定した。今後は、準備組合と最優秀提案者と三島市で交渉を行い、協定の締結に向けて協議を進めていく。 西街区については、広域観光交流拠点を整備するため、公社所有地を売却し、民間による開発を進めており、平成29年度は、土地売却手続、都市計画決定、開発許可を行った。事業者である東急電鉄は、清水建設と本体工事契約を結び、工事を開始している。
【行革取組項目】 実施計画に対する今年度の評価	

4 評価結果に対する改善内容(Action)

次年度の事業のあり方(改善措置)	東街区については、協定の締結により事業協力者を決定した後、整備計画の検討を行い、本年度中の都市計画決定を目指して事業関係者との協議を進めていく。 西街区については、基本計画に基づき広域観光交流拠点に相応しい施設整備に向け、事業の進捗管理を行い、関係部署との連携により、円滑な事業の推進を図る。
【行革取組項目】 次年度の対応方針	

5 業務計画

事業名	手段・業務内容 No.	活動指標	目標及び実績					今後の取組み方針 改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	行政改革 大綱にお ける取組	
			年度	H28	H29	H30	H31			H32
1 三島駅南口東街区再開発事業	1 再開発(準備)組合理事会の開催	理事会開催回数	目標	6回	6回				維持	
			実績	3回	6回					
			達成状況	未達成	達成					
	2 関係機関協議	国・県等との協議回数	目標	6回	6回				維持	
			実績	12回以上	11回以上					
			達成状況	達成	達成					
	3 研修会等への参加	再開発事業関連セミナー、研修会等参加回数	目標	3回	3回				維持	
			実績	5回	3回					
			達成状況	達成	達成					
2 三島駅南口西街区再開発事業	1 事業協力団体との協議	民間企業等との協議回数	目標	6回	6回				維持	
			実績	15回以上	18回以上					
			達成状況	達成	達成					
3 全国市街地再開発協会に係る業務	1 負担金の支払い	負担金額	目標	80千円	80千円				維持	
			実績	80千円	80千円					
			達成状況	達成	達成					
4 静岡県市街地再開発促進協議会に係る業務	1 負担金の支払い	負担金額	目標	10千円	10千円				維持	
			実績	10千円	10千円					
			達成状況	達成	達成					

施策の方向

Ⅱ-4-23-(1)三島駅南口周辺再開発の推進

6 各事務事業に対する事業費

予算費目の事業名、補助金(細節)名	事業費										次年度の コスト方 向性	決算額増減の理由・改 善状況等	行政改革 大綱にお ける取組
	H28歳出(千円)		H29歳出(千円)		H30歳出(千円)		H31歳出(千円)		H32歳出(千円)				
	予算額	(うち一般財源)											
	決算額	(うち一般財源)											
1 三島駅南口東街区再開発事業 (01.08.05.05.020.01)	18,167	(18,159)	10,768	(10,768)	24,995	(24,995)					維持	H28は地質調査業務委託を実施したが、H29は未実施のため決算減額	
	15,979	(15,971)	10,520	(10,520)									
1 会議研修等負担金(01.08.05.05.020.82)	110	(26)	110	(26)	110	(26)					維持	研修受講状況による決算減額	
	102	(10)	18	(18)									
2 三島駅南口西街区再開発事業 (01.08.05.05.020.02)	6,917	(6,917)	7,734	(7,734)	0	(0)					維持	H30より東街区再開発事業へ予算を移行	
	6,907	(6,907)	7,474	(7,474)									
3 各種団体への負担金 (01.08.05.05.020.83)	80	(80)	80	(80)	80	(80)					維持		
	80	(80)	80	(80)									
4 各種団体への負担金 (01.08.05.05.020.83)	10	(10)	10	(10)	10	(10)					維持		
	10	(10)	10	(10)									

施策の方向	Ⅱ-4-23-(2)三島駅南北交通結節機能の充実
-------	--------------------------

1 当該年度の実施計画(Plan)

前年度評価に対する今年度の実施(改善)計画	協議できるルート案がないため、鉄道事業者等との情報交換を行い、駅周辺の再整備による人の流れやバリアフリー等の社会ニーズの変化や機運を捉えながら、整備の可能性を模索していく。
【行革取組項目】 今年度の実施計画	

2 実施計画に対する取組内容(Do)

実施(改善)計画に対する今年度の取組内容	事業化にあたり事業協力が不可欠な鉄道事業者との関係構築を図りつつ、情報収集を行っていく。
【行革取組項目】 計画期間の取組内容(進め方)	

3 実施内容に対する評価(Check)

実施(改善)計画に対する今年度の評価	鉄道事業者との協議を2回実施した。広域観光交流拠点整備事業及び三島駅南口東街区再開発事業の進捗状況等について情報提供を行いつつ、南北自由通路整備事業の事業環境や課題等について意見交換を行った。
【行革取組項目】 実施計画に対する今年度の評価	

4 評価結果に対する改善内容(Action)

次年度の事業のあり方(改善措置)	引き続き、駅周辺の再整備による人の流れやバリアフリー等の社会ニーズ等の変化や機運を捉えながら、鉄道事業者との情報交換を実施し、市民の願いや関係機関との協議ができるよう、整備の可能性を模索していく。東西ともに事業が進めば、選択肢として市民の希望の中央ルート案が残るのみとなるが、整備には長期化が見込まれることから、粘り強く取り組んでいく。
【行革取組項目】 次年度の対応方針	

5 業務計画

事業名	手段・業務内容 No.	活動指標	目標及び実績					今後の取組み方針 改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	行政改革 大綱にお ける取組	
			年度	H28	H29	H30	H31			H32
1 三島駅南北自由 通路推進事業	1 関係機関協議	国・県・JR東海等との 協議回数	目標	2回	2回				維持	
			実績	2回	2回					
			達成状況	達成	達成					

